

⑰校内研修などによる授業改善

取組の具体①

- ・生徒側の立場から設定した学校教育目標『「つなげる」「つたえる」「挑戦する」ことができる南中生になる』を達成するため、校内研修の研究主題を「安心できる人間関係の中で、自他を大切にし、主体的に学ぶ生徒の育成～生徒を主役にした学びの場の設定を通して～」とした。
- ・研究主題を達成するために、生徒と教員を「ハートフルチーム」「Study Labチーム」「探究の時間チーム」の3つのチームに分け、生徒の意見を取り入れた実践を行った。
- ・生徒を交えて研究を進めたことにより、エンカウンターを取り入れた生徒会企画やぽかぽかポスターの作成等が行われ「安心できる人間関係」という土台を作ることができつつある。また、話し合いの型を用いた授業作りや、力になる自学の提案、炭について主体的に調べ学習をする「炭レポート」の作成なども行われた。生徒の目線で運営や提案が行われるため、生徒自身が受け身にならず、主体的に取り組むことができている。



階段に掲示された「ぽかぽかポスター」



希望者で集まって昼休みに遊ぶ「この指とまれ」

日常の自学ノートの取り組みアドバイス (スタディラボチーム みんなのアンケート結果より)

- 苦手なことを繰り返し解く
- ワークを解いて、間違えたところなどをやり直す
- 気になる(まだわかってない)ことを調べて解決する
- ワークを何度もやり直す、解き直す
- ワーク系(授業で使ったプリントやロイロ)をする
- 先生からプリントをもらう
- とにかくやる

自学ノートのアドバイス



炭レポートを読んでアドバイスを書き込む生徒の様子



話し合いの型シート



炭レポート